

南仏事件情報（2016年9月分）

（1）テロ関連

- 過激化したイスラム教徒に懲役2年（ブーシュ・デュ・ローヌ（B d R）県）

15日、マルセイユ検察は、29歳のイスラム教改宗者に、イスラム過激派関連のインターネットサイトを閲覧した罪で、2年の懲役刑の判決が言い渡した。同人は、わずか1ヶ月程度の間急速に過激化し、頻りにジハード関連のサイトを閲覧し、また過激なモスクにも通っていたことで、父親が国内情報総局に通報していた。

- お母さんが過激化容疑で逮捕（ガール県）

22日午前、バニョル・シュル・セズ市近郊で、4人の子どもの母親が警察から過激化したとの容疑で逮捕された。逮捕に先だつての家宅捜索で、シリアの活動家との接触の形跡が確認された。モンペリエの司法警察によると、過激化した女性被疑者を逮捕するのはこの数日で2件目だとのこと。また、9日には、オランジュ近郊の高速道路A7上において、パリで発生したノートルダム寺院付近でのガスボンベによるテロ容疑に関して29歳の女性が逮捕されている。

- ニースで多くのテロ計画を摘発（アルプ・マリタイム県）

28日、ニースの検事がテレビ（フランス3）で、7月14日以降、多くのテロ計画を摘発したと語った。また、テロ行為称賛、インターネットサイトでの脅迫やテロ支援など、テロ関連事案を70件以上取り扱った、と述べた。

（2）殺人、強盗等

- マリニャンで銃撃（B d R県）

1日午前1時ごろ、マリニャン市で、35歳の男性が殺害された。男性は、一戸建ての敷地内に車を駐車したところ、待ち伏せていた2人組からカラシニコフの銃撃を受けた。銃撃で目を覚ました犠牲者の父親は、犯人が家の壁を乗り越えて逃走するのを目撃した。

- ディスコの出口での殺人事件（B d R県）

3日午前5時ごろ、ロニャック市のディスコで、マルセイユ市在住の

24歳の男性が、カラシニコフによる銃撃を受けて死亡した。男性は、ディスコから出た直後、出口で待ち伏せしていた2人の襲撃者から、至近距離から頭部に2発の銃弾を撃ち込まれた。

○ 年金生活者が襲われて死亡（オード県）

10日20時30分ごろ、レジニャン・コルビエール市にある老人ホームの前で、67歳の入居者が襲われて死亡した。被害者が施設の前のベンチに座っていたところ、若い男が車でやってきて、理由は不明だが激しい口論になった末、老人の頭部を殴打した。また、男は別の男性に対しても暴力を振るったが、ケガを負わせるには至らなかった。この犯人は、地元の32歳の男で、犯行後、徒歩で現場から逃走し、さらに他の攻撃対象を探してまわっていたとされている。また、犯人は同老人ホームに辿り着く前には、高速道路で複数の車両に接触しながら走行したとして憲兵隊に通報されていた。逮捕時、犯人からは大量のアルコールが検出された。

○ 元妻を銃撃し、自殺（オード県）

11日午前10時ごろ、カルカツソンヌ市で、女性が腹部を猟銃で撃たれた。現場には、同女性の元夫（49歳）が死亡していた。本件は、現場からパジャマ姿で逃げ出した娘からの通報で認知された。女性は病院に運ばれたが、依然として重態である。元夫は、家族との別離に耐えられず、車でたびたび家を訪れていたとされている。

○ パニエ地区で2件の殺人事件（B d R県）

5日23時30分ごろ、マルセイユ市2区の中央警察署の前の通りで、銃撃事件が発生し、2名が死亡した。現場は、通り沿いの小さなバーで、覆面姿の2人の男が車で現れ、けん銃4発を乱射した。被害者のひとり、刑務所から出所したばかりだったとのこと。

(3) その他

○ 昼間に男性が襲撃される（B d R県）

2日16時30分ごろ、マルセイユ市1区の路上で、男性がナイフで襲撃され、背中と腰、頭部を負傷した。男性は直ちに病院に搬送された。命に別状はないとのこと。

○ 留置場から6人が逃走（ガール県）

2日深夜、ニーム市の留置場から、留置人6人が逃走した。留置人は、それぞれアルジェリア、モロッコ、チュニジア出身者で、留置房の窓をははずし、アルミの格子を曲げて逃走した。6人のうち4人は直ちに拘束されたが、2人は逃走に成功した。この留置場では、水曜日には、移動時に留置人が高速道路を渡って逃走を試み、木曜日には職員2人に対する暴行事案が発生していた。

○ 高速道路でガスボンベ6本発見（エロー県）

9日午前7時45分ごろ、ロデーブ市近郊のスモン村にある高速道路A75下の私有地で、放置車両の中からガスボンベ6本が発見された。通報を受けた憲兵隊の鑑識班が捜査したところ、ガスボンベはすべて空であり、車両は1年前から放置されていたことが判明した。憲兵隊によると、同使用不能のガスボンベは、「リサイクルができずに困った末に放置されたものである。」との結論に至ったとのこと。

○ 大型ショッピングモールで白昼の強盗（B d R県）

13日午前11時ごろ、マルセイユ市15区所在の「グラン・リトラル」内の宝石店を、3人の強盗が襲撃した。1人はけん銃を持って監視し、1人がナイフで店員を脅し、3人目がハンマーでショーウィンドーを破壊して宝石を奪い去った。同宝石店は、7月8日にも強盗の襲撃を受けている。

○ カランクの火事、未成年の火遊びが原因（B d R県）

16日、5日午後にマルセイユ市9区のカランク自然公園内で発生し、300ヘクタールを焼失させた火事に関し、付近に住む15歳の少年を拘束した。少年は、新しく手に入れたライターを試してみたくて茂みに火を付けたところ、瞬間に火が燃え広がってしまったとのこと。

○ 男性が銃撃により負傷（B d R県）

13日深夜、マルセイユ市12区で、40歳の男性が、自宅の目の前の路上で、カラシニコフによる銃撃を受けた。弾丸は男性の背中に命中したが、男性は自宅に逃げ込んだ。男性は、2区のバーを経営しており、

この銃撃は、前の週に2区で発生した殺人事件との関連があると考えられている。

○ スクーターで襲撃、男性重態（B d R 県）

14日19時30分ごろ、マルセイユ市2区の凱旋門（Porte d'Aix）近くの大通りで、スクーターに乗った男が、レストランの前にたむろしていた3人の男性に向け、銃を乱射した。被害者のうち1人は胸に弾丸を受け極めて深刻な様態だが、その他2人は軽傷だった。ヘルメットで顔を隠した被疑者は、そのまま逃走して人混みに紛れていった。

○ 偽警察官が高速道路で強盗（B d R 県）

23日午前4時ごろ、ランソン・ドゥ・プロヴァンスの高速道路で、偽警察官を装って車両の運転手から金品を強奪していた被疑者のひとりを、憲兵隊が逮捕した。共犯者2人は逃走に成功した。この数ヶ月の間、高速道路A6、A7、A9の休憩所で、偽腕章と偽制服を装い、回転灯をつけた車両に乗った偽警官が、一般車両の運転手に職務質問をし、その最中に金品をかすめとるといふ被害が多発していた。

○ 被害者は警察によく知られていた女性（B d R 県）

24日17時ごろ、マルセイユ市3区の路上で、19歳の女性がふとももとすねに複数の銃弾を受けて病院に搬送された。被害者の女性は、軽犯罪や強盗、違法薬物の取引などで警察によく知られた人物だった。翌日の深夜にも、3区と同じ通りで発砲事件が発生したが、被害者は確認されていない。

※ ここに掲載した事件は新聞等の公開情報をもとにまとめておりますが、掲載した事件以外にも日々各種事件が発生していることを申し添えさせていただきます。